

②③ 北第五大区拾三小区上野国  
片岡郡石原村耕地<sup>あら</sup>絵図面

明治8（1875）年10月

この絵図は、石原村の大まかな耕地の様子を描いた絵図で、乗附村・寺尾村との位置関係がよくわかります。地図の左端に見える「雁行沢（川）」周辺では、耐火煉瓦の製造に適した粘土が発見されました。

この史料を含む片山家文書には、石原・寺尾・乗附村の石炭・煉瓦などの産業・生産に関わる文書が含まれているのが特徴的です。また、多数の絵図が残されています。これは、片山家が明治時代に石原村副戸長・戸長、片岡村長などを務めたことによります。

高崎市・片山紀道家文書 P9311 No. 851-2-4

